

## 「分析化学」 年間特集 “分” の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し、設定テーマに関連する論文を、年間を通じて募集・掲載しています。これまでの年間特集企画では「水」、「土」、「火」、「空」、「金」、「生」、「超」、「光」、「膜」、「粒」、「質」、「食」、「省」、「流」に関する論文を掲載しており、節目の15年目に当たる2024年は「分」をテーマとすることと致しました。

分析化学において「分」、すなわち分析対象物質と分析妨害物質を“分ける”ことは、分析の分として使われていることからわかる通り、分析化学の根底に位置する技術です。例えば1906年に植物色素を“分けた”クロマトグラフィーは、分析化学に関わる人にとっては大変なじみ深い言葉ではないでしょうか。精度や信頼性の向上を目的に“分ける”ことは現在でも多く利用されています。それに伴い例えば人類最古の“分ける”技術である抽出の「場」一つをとっても、水層と有機層から、超臨界流体、イオン液体、液体金属と発展しています。さらに、場の組成だけでなく微小空間や膜の特性をうまく利用するなど、多くの新しい“分ける”技術が日々創生されています。

分析化学において“分ける”を例えば“分離”と捉えると、分離は分離であり、単離、抽出、精製、除去、回収といったものとは区別して使われる用語ではありますが、現象としては“分ける”という観点から本特集ではそういった分野の原稿も募集致します。また、分析化学分野の大きな流れの一つに、前処理を必要とせず、非接触・非破壊・非侵襲で簡便・迅速な分析をめざすというものもあります。この場合でも、分析対象物質を空間的に分離することはしていませんが、例えば歴史的資料の年代であったり、体液の組成を“見分けている”という観点から、判別、検出、診断といった分野の原稿も広く募集致します。さらに、生化学分野において、アルカリ-SDS法といえは当たり前の分離技術ですが、“細胞の中から環状DNAのみを分離する技術”は、もう少し具体的に系を想像すると、細胞の脂質膜、多くのタンパク質、様々なイオン、そして物理的性質の酷似した鎖状のDNAやRNAが存在する混合系から環状のDNAのみを分離する技術であり、分野の違う人にとってその分離手法・原理は、現在の分析化学研究につながる可能性もあり興味深いものであると思います。

上記背景に鑑み、本特集では「分」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第73巻(2024年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「分」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。

以上

## 記

1. **特集論文の題目：「分 (separation, isolation, extraction, purification, removal, recovery, chromatography, discrimination, detection, diagnosis)」**
2. 特集論文の対象：「分」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。例を以下に示します。
  - 1) 環境水や体液といった液体試料を分析するための前処理分離に関する研究,
  - 2) さまざまな物質中から測定対象物質を分離抽出する技術に関する研究,
  - 3) 環境からの有害物質の除去・有用物質の回収に関する研究,
  - 4) クロマトグラフィーに関する基礎・応用研究,
  - 5) 分離のシミュレーションを活用した分析化学的研究,
  - 6) 生体サンプル中のバイオマーカー検出に関する研究.
3. 論文の種類：報文，技術論文，ノート，アナリティカルレポート，総合論文，分析化学総説.
4. 特集論文の投稿規定及び投稿の手引き：一般論文に準拠 (<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/kitei.html> 参照).
5. 特集論文の審査方法：一般論文に準拠.
6. 特集論文の申込方法：投稿カード (Excel ファイル) に所定の事項を記入及び選択 (論文種目欄には論文の種類，特集名「年間特集「分」」を選択する) し，編集委員会 (E-mail : [bunkatoukou@jsac.or.jp](mailto:bunkatoukou@jsac.or.jp))あてに電子メール添付にてお申し込みください。投稿カードのうち，題名，著者名は暫定のものを記入し，原稿予定枚数などの未定部分の記載は不要です。
7. 投稿方法：「テンプレートによる投稿要領 (<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/youryou.html>)」をご参照のうえ，論文投稿システム (<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/toko.html>) よりご投稿ください。
8. **特集論文原稿締切：2024年4月26日(金) (第3期)**  
年間特集「分」は3期に分けて原稿を募集します。今回は第3期の募集です。原稿は随時受け付けておりますが，早目のご投稿をお願い申し上げます。
9. 特集論文の掲載：年内掲載に可能な期間内に審査を通過した論文は年間特集論文として「分析化学」第73巻(2024年)合併号の冒頭に掲載します。掲載可能期限以降に採択となった論文は一般論文として第74巻(2025年)第1・2号以降に掲載します。
10. 特集論文に関する問い合わせ先：〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304号 (公社) 日本分析化学会「分析化学」編集委員会 [電話：03-3490-3537, E-mail : [bunkatoukou@jsac.or.jp](mailto:bunkatoukou@jsac.or.jp), URL = <https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/>]